取扱説明書番号
M371-CXXX

CITIZEN®

# 電波時計　取扱説明書
## （掛時計）

この時計は簡単にすぐ使え、受信性能に優れた電波時計です。

○時刻を合わせて出荷しております。

○標準電波に加えて、AMラジオ放送の時報にも対応しています。

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

## アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

**●修理部品の保有について**
この時計の修理用性能部品（電子回路など）は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース類）の修理には、類似の代替品を使用したり、現品交換させていただくことがあります。

**●修理可能期間について**
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

**●転居または贈答品の場合**
お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。
保証期中の場合は、販売店の保証書が必要です。

This product is intended for the Japanese market.
Service and technical support for this product are available only within Japan.

発売元　**リズム時計工業株式会社**

〒330-9551　埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

**お問い合わせ先　お客様相談室　0120-557-005**（フリーダイヤル）
受付時間 9:00 ～ 17:00（土日、祝日および当社休日を除く）

**お問い合わせに際しては、時計裏面に表示してあります製品番号（型番）をお伝えください。**
**例 4MY○○○**



（Y1208）

## 電波時計について

### スリーウェイブとは

日本標準電波の４０／６０kHzにAMラジオ放送（時報）を加えた3つの電波で、時計の時刻を正確に保つための仕組みです。

### 電波時計とは

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

### 標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。
標準電波送信所は、「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と「九州局：はがね山標準電波送信所」の2ヵ所にあります。
標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。
(http://jjy.nict.go.jp)

### 標準電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯（昼／夜）あるいは地形や建物の影響など）により、受信できないことがあります。

**この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。**

### AMラジオ放送の特長

日本各地に放送局があり、大きな出力で送信されております。標準電波が届きにくい所でも受信することが可能です。
AMラジオ放送に対応することにより、この時計をお使いいただける範囲が広がりました。

## 電波を受信しにくい環境

**次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。**

**標準電波が受信しにくい所**
- ●工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- ●金属製の雨戸やブラインドの近く
- ●ビルの地下など
- ●高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- ●朝夕の時間帯、雨天のとき
- ●家電製品や OA 機器の近く
- ●スチール机等の金属製家具の上や近く

**AM ラジオ放送が受信しにくい所**
- ●窓のないデパートのフロア
- ●大規模オフィスの窓から遠く離れた所
- ●ビルの地下および地下街
- ●家電量販店などノイズが多い所

### 標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

### 海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。海外でご使用になるときには、電波受信機能をOFFにして手動で時刻を合わせてお使いください。

## 安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

**ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。**
**必ず守ってください。**

**図記号の説明**

⃠は、禁止（してはいけないこと）を示しています。
❗は、指示する行為を必ずすることを示しています。

### ⚠ 警告　死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

**誤飲を防止するため小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない**
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

**電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る**

- ●電池に傷をつけたり、分解したりしない。
- ●電池をショートさせない。
- ●電池を充電しない。
- ●加熱したり、火の中に入れたりしない。

**電池から液漏れが起きてしまったときは、素手でさわらない**

- ●目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。
  アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
- ●漏れた液に直接触れないでください。
  ゴム手袋をして電池を取り出して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

### ⚠ 注意　傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容

**電池の⊕⊖を正しく入れる**
逆向きに入れると液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

**浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない**
さびの発生や故障の原因になります。

**強い振動や衝撃を与えない**
故障や破損の原因になります。

**分解したり改造しない**
けがや故障の原因になります。

**下記のような場所では使わない**
品質や精度の低下、部材の変形、劣化、故障の原因になります。

- ●直射日光が当たる所。
- ●温風ヒーターなど乾燥した風が当たる所。
- ●温度が＋50℃以上の所。
- ●温度が−10℃以下の所。
- ●屋外などほこりが多く発生する所。
- ●強い磁気を発生させる機器のそば。
- ●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- ●プール、温泉場などガスの発生する所。
- ●調理場など多くの油を使用する所。
- ●ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

## 電池のご注意　（電池の正しい使いかた）

### 電池のご使用上のポイント　正しく使って事故をなくしましょう

- ●プラス（+）、マイナス（−）を間違えない。
- ●古い電池と新しい電池を混ぜない。
- ●種類の異なる電池を混ぜない 。
- ●時計が動いていても定期的に交換する。
- ●長期間使用しないときは電池を取り外す。
- ●時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- ●電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- ●電池を新しくするときは、全部取り替える。
- ●幼児の手が届かない所に置く 。

### 電池の種類について

- ●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- ●一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
- ●一部の高性能電池では、初期電圧が高く時計には不向きなものがあります。
（例 . Panasonic オキシライド乾電池）

### 電池の寿命について

- ●付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- ●使用環境の温度などにより、製品仕様より電池寿命が短くなることがあります。
- ●買い置きの電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなることがあります。

## 電池・時計の廃棄

- ●お住まい地区自治体の指定に従ってください。
- ●電池と時計を分別して廃棄してください。

## 静電気の影響について

静電気により誤作動をすることがあります。このようなときには、強制受信ボタンを押してください。

## お手入れについて

- ●汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、柔らかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ●ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- ●静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

## なぜ？・・・・疑問に答えます

**針が暗い所で早送りで動いた。**
これは、針の位置を修正するために意図的に動かしているものですので、故障ではありません。

**針が 12 時、4 時、8 時のいずれかに止まった。**
針の位置を確かめるために12時、４時、８時のいずれかに一時停止します。その後に時刻を表示します。

**強制受信ボタンを押しても受信表示ランプが点灯しない。**
電波受信機能がＯＦＦです。　Ⓑ 電波受信機能の ON/OFF 操作 参照。



## おもな製品仕様

| 項目 | 仕様 |
|---|---|
| 時間精度 | 電波受信成功直後の表示精度<br>秒針　±1秒　　時針／分針　目盛りに対して±3度<br>電波を受信しないとき<br>平均月差±20秒　(常温中のクオーツ精度) |
| 使用温度範囲 | −10℃ ～ 50℃　＊結露しないこと |
| 使用電池 | 表示用：単３形アルカリ乾電池　JIS規格ＬＲ６　６個<br>内　蔵：コイン形リチウム電池　CR2032　1個 |
| 電池寿命 | 表示用：約5年　標準電波の受信に成功して、暗所秒針停止時間が7時間/日のとき<br>内　蔵：工場出荷時より5年以上（交換不要） |
| 標準電波 | 標準電波を受信して時刻を修正 |
| 受信局 | 福島局/九州局　自動選択 |
| 受信回数 | 最少1回/日、最多６回/日　2時、3時、4時、12時、13時、14時の8分20秒に開始 |
| サーチ機能 | 受信局、電波の強弱表示 |
| ＡＭラジオ放送 | 毎正時の時報放送を受信して時刻を修正 |
| 受信周波数帯 | ５１８～１６１５kHz |
| 受信時刻 | ０時、1時、2時、3時、4時、5時、6時、２３時（表示時刻の約4分前から開始） |
| 受信回数 | 最少　1回／日　最多　8回／日 |
| 受信期間 | ＡＭラジオ放送の受信を開始してから最長で約７日間 |
| 受信機能ON/OFF | ボタン操作 |
| 手動時刻合わせ | ボタン操作で可能 |
| 暗所秒針停止 | 明暗センサーと連動して、暗くなると秒針を12時位置に停止 |
| 電池の交換時期お知らせ機能 | 交換時期になると秒針が常時12時位置に停止 |

●製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

## 付属品

| 品名 | 数量 | 品名 | 数量 | 品名 | 数量 | 品名 | 数量 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 単３形アルカリ乾電池 | ６個 | 木ねじ | １個 | 取付金具 | １個 | くぎ | ４個 |
| 取扱説明書 | 本書 | 保証書 | １枚 | | | | |

図は操作説明用ですので、実際の商品と異なることがあります。

（正面）

**〈表示用電池の入れかた〉**

時計裏面にある2つの電池ぶたを取り外して、電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて、**必ず電池を6個入れてください。**その後、電池ぶたを取り付けてください。

**電池の⊕⊖を逆に入れると電池の発熱・破裂・液もれの原因になります。**

（裏面操作部）

DX

時刻合わせ　強制受信

内蔵電池

お客様が交換する必要はありませんので、開けないでください。

強制受信ボタン

電池を入れたとき、設置場所を変えたとき、誤受信したときに使用します。

時刻合わせボタン

**不用意に押すと時刻が変わります。**標準電波、AMラジオ放送の受信ができないときや任意の時刻に手動で時刻を合わせるときに使います。

**通常の針の動き**

時針・分針：１０秒に１回動きます。

秒針　　　：滑らかな１秒ステップ。

※自動受信で時刻を修正するときは、早送りしたり、停止することがあります。

## 内蔵電池による時刻のバックアップ

この時計は、工場出荷時に電波を受信させ、内蔵電池により時を刻みつづけています。

また、内蔵電池により受信を試み、受信に成功した場合、時刻を修正しています。

表示用電池を入れて強制受信ボタンを押すと8分以内に時刻を表示します。

表示用電池を取り外したり、電池切れのときには、内蔵電池に切り替わり時を刻み続けます。

※内蔵電池のみでは、時刻表示、受信表示ランプの点灯/点滅をしません。

※表示用電池により、時刻表示をしているときには内蔵電池を使いません。

※電波受信機能が「OFF」のときは受信を行いません。

## 明暗センサーのはたらき……暗くなると秒針停止、受信表示ランプ消灯

明暗センサーが暗いと判別した場合、受信表示ランプが消灯して秒針を12時位置で停止させます。
昼間や照明器具により照明されているときでも、明るさが不足するとセンサーが働きます。
※受信中を除いて、明るい所で停止するときには、（電池の交換時期お知らせ機能）参照。

## 標準電波ーAMラジオ放送 受信の流れと受信表示ランプの見かた

**受信の進行状態や受信結果は受信表示ランプで確認することができます。**

時間の流れ

①表示用電池を入れて、強制受信ボタンを押す
　およそ１秒間受信表示ランプが点灯して、12、4、8時のいずれかに一時停止してから、保持している時刻に針が早送りで移動を開始します
　４回点滅：福島局選択　６回点滅：九州局選択　消灯：福島・九州局ともに電波弱

②時刻情報の読み取り中　最長で１５分程度……標準電波の状態が受信表示ランプでわかります
　▶点灯：電波良好（受信できる可能性大）　▶消灯：電波の状態が悪い（受信できない）　▶ときどき点灯　電波状態が不安定（受信できない可能性大）

③標準電波の受信結果を表示
　２秒に１回点滅：標準電波の受信成功　必要に応じて表示時刻を自動修正する。
　１０秒に１回点滅：標準電波の受信失敗→AM ラジオ放送の受信モードになる。

④標準電波・ＡＭラジオ放送の受信結果を表示
　２秒に１回点滅：標準電波の受信に成功。
　５秒に１回点滅：ＡＭラジオ放送の受信に成功。
　１０秒に１回点滅：標準電波受信失敗、ＡＭラジオ放送を受信を継続中
　消灯：標準電波、ＡＭラジオ放送とも受信できない。

＊ＡＭラジオ放送の受信は、標準電波が受信できないときに行います。受信状態になってから連続７日間受信できないときは、ＡＭラジオ放送の受信を停止します。

＊標準電波の受信に成功するとＡＭラジオ放送の受信は停止します。

＊強制受信ボタンを押すとＡＭラジオ放送受信停止が解除されます。

### ご注意

●この説明書でのAMラジオ放送とは、AMラジオ放送で毎正時に流れる時報（プッ、プッ、プッ、ポーン）のことです。放送局によっては、時報音が異なったり、時報を流さないことがあります。

●AMラジオ放送の受信状態のときにも、標準電波の受信を試みます。

●受信しやすいAMラジオ放送局の順に受信を試みます。

●AMラジオ放送の受信は、受信チャンスが1時間に1回のため、受信に時間がかかります。1日当たりの最少受信回数は1回、最多受信回数は8回です。

●受信に成功してもノイズにより誤った時刻を表示することがあります。このようなときには、場所を変えて強制受信ボタンを押してください。

●受信に失敗している場合は、表示されている時刻は正確ではありません。

## Ⓐ 電波を受信できない場合

**1.標準電波、ＡＭラジオ放送ともに受信できない……受信表示ランプ消灯**

ＡＭラジオ受信機で、設置した所でＡＭラジオ放送（推奨ＮＨＫ第一放送）が明瞭に受信できるかを確かめてください。

**明瞭に受信できる場合**

強制受信ボタンを押して2〜3日後に受信結果を確認してください。

**明瞭に受信できない場合**

ＡＭラジオ放送を明瞭に受信できる所に時計を設置しなおして、強制受信ボタンを押してください。

ＡＭラジオ放送を明瞭に受信できない所でお使いになるときには、手動で時刻を合わせてお使いください。この場合、時間精度はクオーツ精度になります。

※**正しい時刻に対して時計の時刻が4分以上の遅れまたは進んでいる場合は、AMラジオの時報放送を受信しても時刻を修正しません。**

ベランダなど屋外で強制受信ボタンを押して標準電波の受信に成功させるか、ラジオや電話の時報サービスなどを利用して手動で時刻を合わせてください。

**2.標準電波が受信できない**

受信表示ランプが５秒に1回点滅していれば、ＡＭラジオ放送の受信に成功していますので、標準電波を受信できなくても正しい時刻を表示しています。

## Ⓑ 電波受信機能のON/OFF操作

誤受信しやすい所や意図的に時間をずらしてお使いになるときには、電波を受信しないようにすることができます。電波を受信しないときの時間精度はクオーツ精度になります。

### ■電波受信機能をOFFにするには（受信機能を無効にするには）

**図のように強制受信ボタンを4回押します。**ボタンを押すタイミングによっては、OFFに切り替わらないことがあります。このようなときには、操作を繰り返してください。

強制受信 押す ▶ 点灯 ▶ 強制受信 押す ▶ 点灯 ▶ 強制受信 押す ▶ 点灯 ▶ 強制受信 押す ▶ 消灯 ▷ 手動で時刻を合わせてください。

〈受信表示ランプが点灯したら、すぐに強制受信ボタンを押してください〉

**※電波受信機能がOFFのときに強制受信ボタンを押すと、受信表示ランプは消灯したままで、針が早送りで動いたり、止まったりしてから時刻を表示します。**

### ■電波受信機能をONにするには（有効にして受信を開始するには）

**電波受信機能は、工場を出荷するときにON（有効）にしています。**

ＯＦＦの状態からＯＮにするときには、**時刻合わせボタンを押したまま、強制受信ボタンを押してすぐ離し、時刻合わせボタンを離します。その後に必ず強制受信ボタンを押して受信を開始させてください。**

### ご注意

※この説明文の中で「押す」は、「押して、すぐ離す」ことです。

**※表示用電池を取り出しても設定を保持しますので、電波受信機能をＯＦＦからＯＮにするには、必ず上記の操作をしてください。**

## ご使用の手順　はじめてお使いになるときは、ここからお読みください。

**AMラジオ（推奨NHKの第一放送）がよく受信できる所に掛けてご使用ください。**

**この時計は、時刻を合わせて出荷しております。**

**電池を入れてから強制受信ボタンを押して、そのまま掛けてお使いください。**

**強制受信ボタンを押してから８分以内に時刻を表示します。**

**〈表示用電池の入れかた〉**および（**時計の掛けかた**）参照

**※時刻合わせボタンを押さないでください。押すと時刻が変わってしまいます。**

**※時刻を表示する前に、12 時、４ 時、８ 時のいずれかに一時停止します。**

この時計は正しい時刻に合わせるために次のことを行っています。

① 福島局または九州局から送信されている標準電波の受信を試みます。

② ①が失敗したときには、ＡＭラジオ放送（時報）の受信を試みます。

**受信結果は、受信表示ランプで確認することができます。**

強制受信ボタンを押して、１５分以上経過してから確認してください。

　２秒に１回点滅：標準電波の受信に成功。……………正しい時刻を表示
　５秒に１回点滅：ＡＭラジオ放送の受信に成功。……正しい時刻を表示
　１０秒に１回点滅：標準電波受信失敗、ＡＭラジオ放送の受信を継続中
　消灯：標準電波、ＡＭラジオ放送ともに受信できない。

（**標準電波ーＡＭラジオ放送　受信の流れと受信表示ランプの見かた**）参照

## 時計の掛けかた

**⚠注意　掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。**

○垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。

○**掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け部に掛け具（木ねじ）がしっかり掛かっていることを確認してください。**

○市販の掛け具を使用するときは、壁掛け部にしっかり掛かるものを選んでください。

○ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に設置してください。

○掛け具は壁掛け部に掛けてください。他の部位には掛けないでください。

### 木の柱または木質の厚い壁面の場合

●**付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。**

●木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。

### 石こうボードの壁面の場合

●**付属の取付金具を使用できる場所は、石こうボードの壁面です。**

●取付金具は下図のとおり、付属のクギ４本でしっかり固定してください。

**付属の取付金具に合った方法で取り付けてください。**

**取付金具　タイプ A**

金具を水平にして①②の順序でクギを打つ。

**取付金具　タイプ B**

○壁の材質、取り付け方法を確認の上ご使用ください。

○付属する取付金具のタイプに応じた取り付けをしてください。

○取付金具は水平に取り付けてください。傾けて取り付けると時計が傾きます。

○クギは取付金具の穴に対して、垂直に押し込んでください。

○取付金具には、3.5ｋｇ以上のものは掛けないでください。

### その他の壁面の場合

●上記以外の壁面に掛ける場合は、**壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。**

## 電池の交換時期お知らせ機能

表示用電池の交換が必要になると、**明るい所でも秒針が１２時位置で停止します。**時針および分針はこのような状態になってから約1ヵ月間[注)] 時刻を表示し続けますが、お早めに電池を交換してください。

[注)] ご使用状態により、この期間は前後します。

**※電池を長期間使用すると電池からの液漏れが発生しやすくなります。**
**表示用電池は時計が動いていても、５年に1回定期的に交換してください。**

### 使用する電池の条件

**電池を長期間使用しますので次のことをお守りください。**

条件を満たさない電池を使用すると、電池からの液もれにより時計や壁面などに損傷を与えることがあります。また、製品仕様より電池寿命が短くなることがあります。

① 電池に表示されている「使用推奨期限」が電池交換時より4年先以上
　例 . 2017 年3月に交換０３ - ２０２１ より先の「使用推奨期限」表示のある電池

② 同じメーカー、同一種類、同一の「使用推奨期限」のもの

③ 未使用の電池

④ 単３形アルカリ乾電池

使用推奨期限の表示例　月ー年

**標準電波、AMラジオ放送とも受信できないときは、手動で時刻を修正してご使用ください。**

## 手動での時刻合わせ……受信できないときや任意の時刻に合わせるとき

受信できない所や意図的に時間をずらしてお使いになるときには、時刻合わせボタンで時刻を合わせることができます。時間精度はクオーツ精度になります。

**※時刻合わせボタンを離しているのに、針が早送りで動いている場合は、通常の針の動きになってから操作をしてください。**

※**電波受信機能**がONのときは、受信に成功すると時刻を修正します。
　☞（Ⓑ 電波受信機能のON/OFF操作）参照。

### 操作

○時刻合わせボタンを押してすぐに離すと1分進みます。

○時刻合わせボタンを押し続けると早送りします。

**秒針の動きについて**

**時刻合わせボタンが押されると秒針は停止します。**

時刻合わせボタンを離したときにゼロ秒に設定され、時間が経過して、**秒針が指している時刻になると秒針が動き出します。**